

1 何(どこの部分)が決め手となって「東淀川区BCP運営会議」に参加してくださいましたか？

1 区役所主催であること。

前任者からの引き継ぎ

2

3 地域防災の取り組みも行っており、企業としての参加もしたかった。

4 事業継続計画について、当社でも課題であったため。

5 緊急時の対応の検討。

6 BCPとはどういうものか知りたかった。

7 水道局として連携が必要と感じている。

8 いろいろな業種の集まりのため。

9 東淀川区で行う。

10 BCP策定事例紹介。

11 BCPとは？分からなかったため。

12 電気工事会社に何ができるのか考えたかった。

13 ご案内

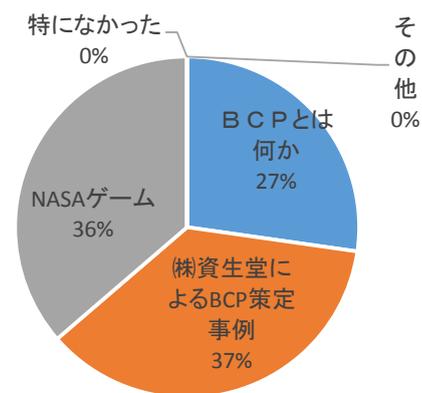
14 BCPの策定に必要性を感じており、

当法人においても大きな課題の一つとなっている。

2 「東淀川区BCP運営会議」のどのプログラムがよかったですか？

(あてはまる項目に1つだけ○をつけ、必要項目を記入してください)

	項目	件数
1	BCPとは何か	3
2	(株)資生堂によるBCP策定事例	4
3	NASAゲーム	4
4	特になかった	0
5	その他	0
	無記入	3



■「東淀川区BCP」の推進について

3 貴社において事業継続計画(BCP)が策定されていない場合、策定できない主な理由は何だと思われますか？

- 1 本社からの指示がないこと。

2

- 3 人手不足。

- 4 社内での人員等の確保が難しいため。

- 5 トップの認識不足。

- 6 個人事業者のため。

- 7

- 8 想定するケースがはっきりしないため。

- 9 関心とコスト。

- 10 危機感が足りない。

- 11 BCPを分からなかったため。

- 12 公共工事の受注のため、建設BCPの策定をしておりますが、
実際は活用できていない。

- 13 現在、防災マニュアルに基づき、精査作成中。

- 14 策定のノウハウがなく、BCPそのものの意味もあまり理解していない状況。
策定する時間も人員もない。

4 災害時において、区内の活動を継続させるためには、企業・地域・行政機関の連絡体制を決めておくことは重要だといわれていますが、平常時に具体的にどのようなことならできるとお考えですか？

- 1

- 2

- 3 企業・地域・行政機関の連携。

- 4 定期的な訓練等。

- 5 連絡体制の運用訓練。

- 6 年1回以上の会議、話し合い。

- 7

- 8 行政との連携体制。

- 9 自社の災害マニュアルの充実。

- 10 マニュアル、BCPの策定(事例を踏まえて)。

- 11

- 12

- 13 福祉避難所の対応、地域安否確認。

- 14 地域(地区)内にて、できる限り顔の見える体制づくり。

5 貴社の所在する地域との関わりはどのようなものがありますか？

1 区民まつりへの参加。

区役所との防災協定。

2

3 地域防災訓練の参加、物資供給等。

4

5 周辺清掃。

6 日本赤十字社、大阪市社会福祉協議会、淀川右岸防災ボランティア

7 防災訓練に参加。

8 消防、防災訓練や各種研修に参加する。

9 防災、防火訓練(合同)、勉強会。

10

11 なし。

12 現状できておりません。

13 防災学習会への呼びかけ。

14 地区の防災訓練に毎回参加している。

■東淀川区の区政について

6 地域のまちづくりに関する活動が、地域、企業、教育機関、行政等様々な活動主体の連携によって

進められていると感じますか？(あてはまる項目に1つだけ○をつけてください)

	項目	件数
1	感じる	6
2	どちらともいえない	6
3	感じない	1
	無記入	1

